

小国高校

vol 155

2011.12

ジャーナル

地域文化学発表会

11月22日(火) 本校体育館にて、今年度1学年が取り組んだ「地域文化学」の研究発表会を行いました。



ご指導いただいた大学の先生、および取材などでお世話になった地域の皆様、本当にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

各班の研究テーマ

1班	小国の地質・地形の成り立ちについて
2班	農業廃棄物を利用した汚染飲料水浄化プロジェクト
3班	昔物語から探る小国町
4班	0guu 第4号の発行 ～「食」と「人とのつながり」から小国の未来を考える～
5班	私たちが考えるパワースポット ～小国町の魅力を求めて～
6班	小国町の保育・介護の現状
7班	小国町の医療・福祉の現状

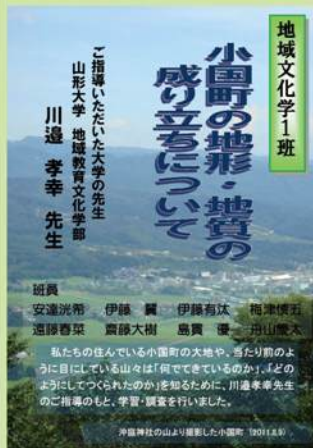
各班の研究概要 1

本号より3回にわたり、各班の研究内容の概要を示した、当日配付されたパンフレットの一部を紹介していきます。 **1班**

ご指導いただいた大学の先生
山形大学 地域教育文化学部
川邊 孝幸 先生

小国の地形・地質の
成り立ちについて

地域文化学1班



私たちの住んでいる小国町の大地や、当たり前のように目にしている山々は「何でできているのか」、「どのようにしてつくられたのか」を知るために、川邊孝幸先生のご指導のもと、学習・調査を行いました。

沖田神社の山より撮影した小国町 1901(50)

班員
安達洸希 伊藤 翼 伊藤有汰 梅津慎五
遠藤春菜 齋藤大樹 島貫 優 丹山駿太

立体地図模型の製作



製作期間約半年！

2万5千分の1地形図をもとに、等価線によって切った厚紙を重ねて貼ると、入り組んだ谷の様子や標高の急な山の形が見えてきた。

